

## 令和6年度（2024年度）日臨技認定センター 認定病理検査技師指定講習会実施要項

**日時**：2024年7月1日(月)9時00分～7月31日(水)23時59分

**会場**：日臨技 Web 研修会システムより視聴

**テーマⅠ**：『認定病理検査技師に必要なマネジメント』

**目的**：日臨技認定病理検査技師制度の目指す目的や方向性について解説し、認定病理検査技師に求められる病理検査業務に係るマネジメント力を高める。

**テーマⅡ**：『病理検査技術に求められる知識、技能を高める』

**目的**：日常業務において認定病理検査技師に求められる、組織検査および細胞検査、遺伝子検査などの標本作製に必要な標準的な方法や技術を修得し、標準化や精度管理能力を高める。

**講習目的**：

病理診断は「診断の最後の砦、最終診断」とされ、これまでも国民の医療に深くかかわってきた。近年はとくに「がん診療の分野」で、術中迅速診断およびコンパニオン診断を用いた分子標的治療薬の適応判断、臨床試験やがんゲノム医療への対応など、病理部門がチーム医療の中で果たす役割は毎年拡大の一途を辿っている。

病理部門が「最終診断」として国民に対しての責務を十分に果たしていくためには、「標準化された精度の高い病理標本作製技術と根拠に基づく幅広い知識」が必要であり、それを維持していくことが我々に課せられた使命であろう。病理標本作製技術は特殊性が高く、臨床検査技師の技能を基盤としてさらに、病理専門知識・技術を習得、習熟することが重要であり、その標準化と客観的評価が必要である。加えて組織運営やリスク管理などのマネージメント能力は、組織社会的な貢献には不可欠な要素であり、これらの研鑽も求められる。この様な背景から、一般社団法人 日本病理学会からの期待およびご協力のもと、平成26年よりスタートした日臨技病理認定検査技師制度について、その設立の目的や方向性、および職務内容等について解説し、当認定制度の果たすべき目的について理解する。

**主催**：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

**生涯教育点数**：専門教科30点

**受講資格**：5年以上の病理検査実務経験を有する日臨技会員（臨床検査技師）で、

「日臨技生涯教育研修制度」修了者（2019年度～2023年度に修了証書を受領した者、および受講申請時にシステム上で2024年度修了を確認できる者）

且つ、認定病理検査技師制度を受験する意思を有する者。

**事前参加費**：10,000円（クレジット決済のみ）※決済完了で受講可能となります。

**募集人員**：300名（先着順）

**受講申請**：会員専用ページ「事前参加申込」→「行事コード：」からお申込みください。その際に「事前質問：経験年数、病理検査経験年数」に回答してください（必須入力）。

**募集期間**：2024年5月23日（木）～6月30日（日）

「 認定病理検査技師指定講習会 」

生涯教育点数 専門教科 30 点	
テーマ	『認定病理検査技師に必要なマネジメント』 『病理検査技術に求められる知識、技能を高める』
目的	認定病理検査技師に求められるスキルを理解、習得する
会期	令和6年7月1日(月)9:00 ~7月31日(水)23時59分
会場	日臨技 Web 研修会システムより視聴
内容	<p style="text-align: right;">(敬称略)</p> <p>開講挨拶 10分 『はじめに』 千葉細胞病理検査センター 清水 秀樹</p> <p>講演 1 60分 『病理検査室における ISO15189 取得に必要な知識』 千葉大学医学部附属病院 鈴木 学</p> <p>講演 2 60分 『病理検査における精度管理の重要性』 香川大学医学部附属病院 羽場 礼次</p> <p>講演 3 60分 『危機管理・リスクマネージメントに必要な知識と手法』 聖マリアンナ医科大学病院 島田 直樹</p> <p>講演 4 60分 『病理解剖に必要な知識と技能』 桑名総合医療センター 白石 泰三</p> <p>講演 5 60分 『病理検査室における作業環境対策に必要な知識と技能』 神戸大学医学部附属病院 塚本 龍子</p> <p>講演 6 70分 『認定病理検査技師に求められる法的知識及び病理診療報酬のイロハ』 慶應義塾大学病院腫瘍センター 佐々木 毅</p> <p>講演 7 60分 『組織切り出しに必要な知識と技能』 大阪大学大学院医学系研究科 森井 英一</p> <p>講演 8 40分 『検体採取・検体受付・検体処理・包埋までに必要な知識と技能』 静岡県立総合病院 坂根 潤一</p> <p>講演 9 40分 『薄切から一般・特殊染色に必要な知識と技能』 天理大学医療学部臨床検査学科 西川 武</p>

	<p>講演 10 40分 『細胞診検体処理に必要な知識と技能』 香川大学医学部附属病院 松永 徹</p> <p>講演 11 40分 『術中迅速標本作製に必要な知識と技能』 筑波大学附属病院 古屋 周一郎</p> <p>講演 12 60分 『遺伝子検査の基礎（組織検体取り扱いを含めた）』 北里大学病院 山下 和也</p> <p>講演 13 60分 『コンパニオン診断・ゲノム診断の検査精度に必要な知識と技能』 北海道大学病院 畑中 豊</p> <p>講演 14 40分 『遠隔医療に必要な知識と技能』 神戸大学医学部附属病院 吉田 美帆</p> <p>講演 15 40分 『免疫染色の品質管理』 がん研究会有明病院 石井 脩平</p> <p>講演 16 30分 『認定病理検査技師制度の目指す方向と役割』 認定病理検査技師制度審議会</p>
募集人員	300名
参加資格	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員
受講料	10,000円 ※クレジット決済のみ
申込締切	令和6年5月23日（木）～ 6月30日（日）
申込要領	<p>* Webからの事前受付</p> <p>会員専用ページ ⇒ 「学会・研修会に参加したい 事前参加申請へ」 ⇒ 行事検索 ⇒ 日臨技又は支部講習会を選択 ⇒ 事前登録</p>
申込先	〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 事務局 電話 03-3768-4722
主催	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

※携帯電話・スマートフォン・デジタルカメラ・ICレコーダー等を用いた講義内容の撮影・録音は禁止させていただきます。

※受講のための機材の準備、資料の印刷や通信料の負担については各自でお願いします。